

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 井上農場】

2025年
8月7日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用



水稻において、栽培管理システムから得られたデータ（生育予測情報など）を産地内の農業者と共有し、他の農業者のデータと比較しながら、次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 井上農場（山形県鶴岡市）

経営概況（2025年7月時点）

経営規模：水稻 68ha、トマト1ha

従業員数：10名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



井上農場の皆様



栽培管理システム（Agrilook）

～認定を受けて一言～

私たちは、農業が直面する労働力不足や生産効率の課題解決のため、スマート農業技術の導入が不可欠であると確信し、本計画の策定に至りました。

さらに農場を発展させ、日本の農業を未来に繋いでいく所存です。地域農業の持続的な発展と、より高品質な農産物の安定供給に貢献できるよう、一層精進してまいります。